

平成 29 年度 第 3 回近江八幡市子ども・子育て会議 要録

日 時 平成 30 年 3 月 22 日 (木) 午前 10 時 00 分～午前 12 時 00 分
会 場 総合福祉センター「ひまわり館」2 階 研修室
出 席 委 員 ◎中川 千恵美委員、○小西 ひとみ委員、
田中 裕喜委員、中江 栄理香委員、山下 亜由美委員、高野 徹夫委員、
高塚 博樹委員、小林 優子委員、榊原 かず子委員、伊藤 左登美委員、
重野 弘樹委員、河村 加恵委員、杉本 僚子委員、福永 利明委員、
田中 留美委員、佐野 淳子委員、久家 昌代委員
(欠席) 竹下 秀子委員、川橋 袖子委員、前出 みずほ委員、
安川 千穂委員
◎：会長等、○：副会長等

傍 聴 者 0 名

議 題 (1) 子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
(2) 次期計画の策定スケジュールについて

決 定 事 項

子ども・子育て支援事業計画について、中間見直しの計画書(案)を決定した。

議 事 詳 細

1. 開会
2. 会長挨拶

(会議の開催にあたり会長より挨拶)

会長 地域共生を考えていくとき、住民主体の層と、住民同士の交流や支え合いと、専門職による支援展開の段階がある。子どもと共に暮らす、子どもの育ちを応援するというのが、近江八幡で生活するということのスタートとなる。地域共生のためには、それぞれの立場で意見交換を行い、色んな取り組みや意見の齟齬を、もっと市民全体に可視化していくことが大事だと思う。また、連携していくためには、立ち位置が違っていることを前提に、合意形成することが大事であり、役割が違ふところからどう接点を考えていくのかを、皆さんと議論できればと思う。

本日の議事の中で会議を公開することに格別の支障となる事項はないように思うので、公開としたいと考えるが、委員の皆さんよろしいか。

(異議なし)

それでは、近江八幡市会議の公開に関する取扱要綱第4条の規程に基づき、本会議は公開とすることを決定する。

3. 議事

(1) 子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

(事務局より、中間見直しの計画書(案)について説明)

(説明概要)

前回承認された「量の見込み」と「確保方策」について、中間見直しの計画書(案)として提案した。

委員 八幡西中学校区の新しい認定こども園整備の進捗、小規模保育の3歳児以降の受入れ、閉鎖されるひかりの子の早期復活についてお尋ねしたい。

事務局 桐原小学校区の認定こども園は、計画通り整備が進んでいます。桐原東小学校区の認定こども園は、土地取得が難航していますが、平成31年4月の開園を目指して調整を進めています。

事務局 平成29年度に小規模保育を卒園された3歳児は、すべて保育に引き継いで入所を達成できています。来年度以降も毎年5～60人が卒園されますので、受入れを検討していきます。

事務局 子ども発達支援センターの「ひかりの子」の事業のうち、午後の並行通所のみを一時休止しますが、引き続き保育士の確保に努めて、できる限り早い再開ができるよう取り組んでいます。

会長 見込み量が大きく乖離した点と、実績値が計画値より必要になった点が中間見直しを行うということで計画書(案)に記載された。この見直し内容で確定させていただく。

(2) 次期計画の策定スケジュールについて

(事務局より、第2期子ども・子育て支援事業計画の策定日程について説明)

(説明概要)

2カ年に渡って次期計画を策定していくスケジュールを説明した。

- 会長 親御さんへの関わりを進めていただく中で、忘れないでほしい視点や、盛り込みたい点を、本会議や部会でご意見いただきたい。皆さんも、次期計画があるんだということを、見守り、参加し、自分たちができることへの意識を持って、共有いただきたい。
- 委員 国が示す女性の就業率を、今後どのように考えるのか、予算措置も含めて、次期計画の中では数値化してほしい。また、保育所、認定こども園は民営化を基本に考えておられるが、土地の賃借料への補助や無償化、農地の流動化を考えてもらえると、さらにやりやすい。
- 事務局 市の公有地については、一定、手数料条例の算定に基づき、有償で貸し付けをしています。ただ、市が本来運営すべき保育所、認定こども園については、一定軽減した賃借料を設定しています。
- 会長 国が示す女性の就業率8割を想定すると、潜在的なニーズがとても大きくなるでしょうし、今後の計画にも影響するので、近江八幡の就業率を関係部署のデータを確認して準備いただきたい。
- 委員 第2期計画では、質の確保を念頭に置いてほしい。
- 会長 質の問題としては、子どもの集団活動としての質、支援する専門職の質を併せて、重視していただきたい。

(3) その他

(事務局より、市民意見交換会、会議後の質問意見に対する回答について説明)

(説明概要)

市民意見交換会で抽出された親子の意見や、委員から寄せられた議論してみたい点について報告した。

- 委員 日曜日に親子で遊べる場所がない、雨の日に遊べる場所がない現状はなんとしても充実して欲しい。これからできる環境エネルギーセンターのプール・公園は、一日遊んでも、また来たいとなる施設をお願いしたい。
- 委員 マル福が就学前までの支援なのは厳しい。充実の検討を。
- 委員 ボール遊びや運動ができるような公園を整備してほしい。
- 会長 土日は家庭という従来通りではない色んな働き方や、働く女性の増加もある。都心部では土日も開催する場が定着しているが、新たに作るなり、今ある場をどう活用するのか、検討いただきたい。

- 委員 最近の男性は、家事・育児をかなり頑張っている。これからは、男性が気軽にしゃべれる場がある。ちょっと息抜けるような一時保育や、男性をどうケアしていくかが、これからは課題だと思う。
- 委員 保護者会の役員も女性の方ばかり。働いているお父さん、お母さんが出やすいときに、出やすいところで、出やすい形でおしゃべりカフェを開催すると、もっと意見が吸い上がってくると思う。
- 会長 曜日設定も含めて検討いただくと、多様なお父さんの参加にも繋がっていく。こういった取り組みが、プレママ・プレパパとの交流の機会として、子育て経験者との縦の繋がり、当事者同士の繋がりとなって、地域に根付いていくと良い。
- 委員 幼稚園ではお父さんの自主サークルがあるが、お父さん同士が繋がっていく場、しゃべれる場としてとても良い。お母さん同士が繋がるのも大事だし、体力も時間もある高齢者を活用してほしいという意見もいただいているので、子育ての先輩に話を聞ける場も作れたらと思う。
- 委員 支援員確保のため、シニア向け仕事説明会の機会は本当に良かった。子どもたちは想像以上に活動量もあるので、若い方にも支援員に来てもらえるよう、もう少し幅広く仕事説明会があれば、参加したい。
- 会長 保育人材の確保に対して、具体的なプランがありますか。
- 事務局 保育士の確保のため、平成 30 年度から家賃補助の制度を予算化しました。また、就職説明会を年 2 回ほど開催する計画をしていますが、いかに来ていただくか、周知が大きな課題と考えています。
- 会長 子育てするなら近江八幡というキャッチフレーズと合っていない状況を受け止めて、公園などの大きな整備が必要な点と、休みの日に他の人との接点がなくなることも簡単に想像できるので、今ある拠点やセンターでの土日開催が本当に難しいのか、そういった場をどう設定するのか、どう構築するのか、改めて検討いただきたい。
- 委員 子どもセンターは土曜日もやっていて、先生としゃべること、気持ちがりフレッシュできていた。
- 委員 地域ぐるみで子どもたちをどうやって育てていくか、若い世代とどうやって地域づくりをしていくか等の意見もあるので、身近な地域の中で顔が見える関係づくりが進んでいけるよう取り組みを進めていきたい。
- 委員 アンケートだけでは拾い上げられないものがたくさんある。子育ておしゃべりカフェのようなヒアリングは、発達に不安を抱えておられる方にも

事務局	<p>していただきたい。発達の遅れや子育てのしにくさが見られるのが2歳半頃なので、2歳半健診を確実に受けるべきものにしてほしい。</p> <p>2歳半については、母子保健法に基づく健診ではなく、相談という形で実施していますが、非常に大事な時期なので、問い合わせがあった方には来ていただくよう説明しています。特に、本市で実施している1歳8か月児健診でフォローしている方には声かけをし、大事だということを、今以上に伝えていきます。</p>
委員	<p>保育士確保のためには、保育士の気持ちも含めて、保育の大変さについて保育士の方に生の声を聞いて、何が原因になっているのか、どうすれば保育を続けられるのかを考えてもらいたい。</p>
会長	<p>子育ては、親が子どもと向き合い成長と共に担っていくが、色んなレベルで、いくつかの層で応援してもらい、人と人が早期から出会うことで、八幡での地域の作り手になっていくと思う。</p> <p>それぞれの立場で感じた思いや、気になる方の発見は皆さんでしかできない。皆さんの意見を常々拾って、計画と共に進捗、実行していく、そういう近江八幡市であってほしい。思いを次に繋げるためには、市の計画や体制づくりで考えていかなければいけず、意識して、今後も協力を。</p>

4. 閉会挨拶

(会議の閉会にあたり副会長より挨拶)

副会長	<p>近江八幡市民なのに、日曜日や雨の日に他市町に遊びに行かないといけないのは悲しく、残念なことだと思う。近江八幡で子育てしたい、して良かった、本当に満足しているとなるように、計画が実現していけるように、これからもみんなで見守っていただければと思う。</p>
-----	---

閉会